



まつぼちゃん

まつぼっくい



町小HP

平成29年8月30日 発行

校長 蔦林 洋司

校長室で相談できます！いつでもどうぞ

今年の夏休みは、8月に入って雨と低温が続き、近年にない記録と記憶に残る夏になるのではないのでしょうか。それでも夏休みが終わる21日はようやくお日様が顔を見せ、プール最終日のこの日は暑さが戻って、水しぶきとともに元気な子どもたちの声が響きました。

夏休みが明けた22日(火)、子どもたちは大きな事故もなく、宿題や課題を入れた大きなバックを持って、日に焼けた元気な姿を見せました。

さて、この日行った「夏休み明け集会」では、始めにプール利用回数の上位の子どもたちを紹介し、みんなで拍手で讃えました。次に、校長室活用についてお話をしました。普段子どもたちの中には「さよなら」を言いに寄ってくれる子どももいますが、特に用事がないと入らないところです。しかし「何となく落ち着かない」「気持ちがいまいち」「何かうまくいかないことがある」「がんばったことを伝えたい」ときは、いつでも校長室におしゃべりに来てよいことを話しました。夏休み明けは生活リズムと環境の変化で、心が不安定になる子どもがいるからです。



新しい玄関

最後に、夏休み中に120周年記念事業として行った玄関改修工事について、父母と教師の会・地域の皆様からのプレゼントであることを紹介しました。

玄関の靴箱を児童数に合わせて以前の半分(264人分)にしたため、少し広々とした感じになりました。子どもたちは、新しい靴箱に嬉しそうにズックを入れ感触を確かめていました。

町小のカップたち！

今年も、午前と午後で24コマのプール利用日を設けましたが、内7回は悪天候のため開店休業となりました。昨年の利用延べ人数は1,316人(21コマ)に対して、今年は1,128人(17コマ)となりました。それでも目標をもってたくさんプールに通ったカップたちを紹介します。(紙面の都合で12回以上)

- 【1年生】濱口大樹(19回) 中川原結愛(16回) 荒木地りん(15回) 木野目遙大・三浦花穂(12回)
 - 【2年生】荒木地冬我(16回) 中村雄晟・水梨瑠偉(15回) 阿部彩花・石橋大成・松原悠・十字結希(14回) 箱石陽依(13回) 松原愛希(12回)
 - 【3年生】井上空(19回) 穂浪涼(18回) 小屋敷修人・山本彩綺(15回) 石山愛琉(13回)
 - 【4年生】大山海吏・早野綾莉(17回) 在家虎伯・鈴木将聖(14回) 一ノ渡龍太郎・小野れいな・箱石結依(13回) 井上仁(12回)
 - 【5年生】関田日菜子(17回) 北嶋柚亜(12回)
 - 【6年生】佐々木佑太朗(15回)
- ※町小プール+その他の公共プールの合計



日	月	火	水	木	金	土
9がっ			8/30 県学習状況調査(5年生)	31 自由参観日 夏休み作品展	9/1	2 秋の親子早朝奉仕作業
3 町畑地区運動会	4 東中グッジョブウィーク~7日	5 引落日 2年生6名 職業体験	6 全校朝会(陸上選手壮行会) ◇職員会議	7	8 市内小学校 陸上競技会	9
10	11 防災学習 	12	13 全校朝会(プール納め) ◇職員研修	14 パワーアップ テスト算数	15 劇団四季による こころの劇場鑑賞(6年生)	16 町畑地区 敬老会
17 第二桜ヶ丘 敬老会	18 敬老の日	19 ◎市教委教育 指導課来校	20 全校朝会 (校長講話)	21 防災学習 ◎県教委三八 教育事務所長 来校	22 避難訓練 (地震対応)	23 秋分の日
24 参観日 町小バザー	25 振替休業日	26 交通安全 職員立哨指導 ~29日	27 音楽朝会 ◇職員研修	28	29 前期終業式	30

いじめゼロ 今わたしたちができること

8月7日、八戸市の小学校42校の児童代表が、いじめに対する考えや防止に向けた取組を話し合う「いじめ防止対話集会」が市総合教育センターで開かれました。本校からも2人が参加しました。

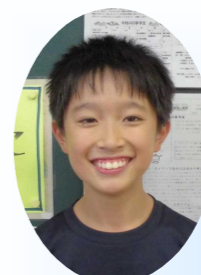


5年 吉田 ふたば

わたしは、2つ心に残りました。1つ目は、悪気がなくても人に嫌な思いをさせたらいじめになるということです。2つ目は、悪ふざけからいじめになることもあるということです。「少

しいたずらしてやろう」という気持ちでも相手の人が「本気でいやなこと」もあります。

相手のことを考えた言葉や行動でいじめをなくそうと思いました。



6年 榎本 瑛斗(えいと)

ぼくは、いじめはしてはいけないことは知っていたけれど、どこまでがいじめなのか深く考えたことが少なかったため、とても良い機会でした。

話し合いの中で「見て見ぬふりをしている人はいじめと同じ」などたくさん意見があり、さすが代表の人たちだと思いました。だから、ぼくも一生懸命考えました。

人数にかかわらず、相手の心を少しでも傷つけたらいじめです。いじめを起こさないためには、友だちをたくさん作るだけでなく縦割り班など、どの学年の人とも仲よくすることが大切だと思いました。そして、いじめに気が付いたときは、先生に知らせたり、いじめられている人の心を和らげてあげたり、勇気をもって行動しなければいけないと思いました。

遠野市・紫波町を訪問して ~南部藩ゆかりの都市との交流事業~

ぼくは、派遣団の学校代表に選ばれて大きな責任を感じていました。最初の研修会では緊張しましたが、サッカーやモーグルなどスポーツの話ですぐに友だちができました。



7月26日~28日。活動の中で一番楽しかったのがカップ川淵での「カップ祭り」です。えさのキュウリが急に半分になったときは、カップのいたずらかとびっくりしましたが、ちがいました。紫波町では「そば作り」を体験しました。覚えたやり方で家族にも作ってあげたいと思いました。

遠野でも友だちができ、別れるのは寂しかったけれど、最後までみんなと笑って活動できたのでよかったです。おかげで、町畑小学校の友だちをもっと大切にしようという気持ちがふくらみました。

6年 渡辺 結翔(ゆいと)